

マグニチュード8を超える巨大地震が発生した場合 (津波の高さを“巨大・高い”と表現します)

気象庁は、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震による被害の甚大さに鑑み、津波警報を改善し、平成25年3月7日から運用を開始します。

気象庁では、地震発生直後にその地震の規模(マグニチュード、以下「M」と表記する)を推定し、それをもとに発生する津波の高さを予想しています。しかし、東日本大震災のようなM8を超える巨大地震の場合は正しい地震の規模をすぐに推定できないため、「**巨大な津波の恐れがある**」などと表現し数字を出さずに、最大級の津波を想定して津波警報を発表することとしました。この場合、予想される津波の高さについて、大津波警報では「**巨大**」、津波警報では「**高い**」という言葉で発表し、**非常事態**であることを伝えます。

「**巨大**」「**高い**」という言葉を使った津波警報が発表された時は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。また、沿岸で異常に強い揺れや長い揺れを感じたら、津波警報などの発表を待たずにすぐに避難するようにしましょう。

確実に**津波**から命を守るためには、直ちに「**避難**」するしかありません!

津波警報の発表(巨大地震発生時のイメージ)



到達予想時刻・予想高さ		
大津波警報		(予想高さ)
〇〇県	津波到達中と推測	巨大
××県	10時30分	巨大
:		
津波警報		
△△県	11時00分	高い
□□県	12時00分	高い



「**巨大**」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、ただちにより高い場所に避難しましょう!